

平成25年度第1回横浜市子ども・子育て会議放課後部会 会議録	
日 時	平成25年10月31日（木）10時00分～12時00分
開催場所	市庁舎8階 802会議室
出席者	相原和行委員、明石要一委員、大野功委員、斎藤有厚委員、橋本ミチ子委員、梁田理恵子委員、上浦孝雄委員、工藤春治委員、森佳代子委員、山手英樹委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者6人）
議 題	<p><議題></p> <p>(1) 部会の所掌事業、検討スケジュール等について</p> <p>(2) 放課後部会の所掌事業に関する現状と課題等について</p>
決定事項等	なし
<p><議事></p> <p>(1) 部会の所掌事業、検討スケジュール等について</p> <p>（事務局）資料に基づき説明</p> <p>（橋本委員）資料3-2の基本施策⑧「児童虐待防止対策と社会的養護体制の充実」については、子育て部会で検討することになっていますが、学齢期以降のこれらの課題についてはどこで審議しますか。</p> <p>（事務局）放課後部会の中でそのような課題について検討された場合は、事務局が他の部会との連携をはかりながら対応していきたいと考えています。</p> <p>（明石部会長）放課後部会では、量的な見込みとそれに対する確保策を年度ごとにシミュレーションしていくということですね。</p> <p>（事務局）まずは事務局として、見込量を算出する基本的な考え方をお示しして、部会にお諮りしたいと考えています。</p> <p>(2) 放課後部会の所掌事業に関する現状と課題等について</p> <p>（事務局）資料に基づき説明</p> <p>（明石部会長）平成27年度から31年度までの5か年で、はまっ子をキッズに転換するということですか。</p> <p>（事務局）期間についてはこれから事業計画を策定する中で具体的に検討していくことになりますが、基本的には、学区間の不公平感を払しょくするために、全校でキッズ転換するとともに、放課後児童クラブについても充実支援するという方針です。</p> <p>（明石部会長）キッズ転換を進める際に活動場所の不足は大きな課題となっていますが、学校の中に場所がとれない場合は近隣の保育所を建て増してキッズを併設するということも考えられないでしょうか。子どもたちは小学校就学前から慣れ親しんだ場所で放課後が過ごせ、小学生が幼児の面倒を見るという体験もできる。</p> <p>（橋本委員）保育所の運営法人が、保護者からの要望を受けて同じ敷地内や近隣に学童クラブを開設するケースはあります。従来は運営委員会型のクラブが多かったわけですが、今後は、一定の条件を満たしていれば企業が運営する放課後児童クラブでも補助を受けられるようにするのか、検討することになっていくと思うのです。</p> <p>（事務局）現在は、株式会社が運営している放課後児童クラブは補助対象になっていません。</p> <p>（明石部会長）タワーマンション開発の際に保育所を設置する企業が増えていますが、放課後のスペースも設置してくれるとよいですね。</p>	

(橋本委員) 理想的ではあるけれど、実際にスペースが取れるのかが課題です。また、保護者としては、キッズと放課後児童クラブのどちらを望んでいるのでしょうか。未就学の調査結果では、放課後を過ごさせたい場所として学校施設を選んでいる人が多いですが、同じ場所の方が安心であるとか、安価という理由で希望しているのかと思います。

(相原委員) 保護者としては、学校から外に出なくてもよいのは安心ですが、一方で、空き教室がない学校でどのようにキッズ転換するのか、解決が難しい問題だと思います。

(事務局) 基本的にはキッズは学校内に設置する方向で、教室が使えない場合はプレハブを設置する等の方策を考えています。学校ごとに調査を行っていますが、プレハブ設置の場合は校庭をつぶさないよう配慮していきます。併せて、学校の外で活動する放課後児童クラブの支援も充実していきます。

(森委員) 障害児の場合は学校の外へ一人で歩いて出ていくというのが難しい場合も多いので、学校内に放課後のスペースがあるメリットは非常に大きいです。学校の外となると、通うこと自体がハードルになります。

(明石部会長) ニーズ調査の結果は非常に興味深い。就労状況や世帯収入等から、全国的に見ても横浜は経済的に安定している世帯が多いということがわかります。

(橋本委員) 生活が苦しい家庭は、こういうアンケートに答えていないということはないのでしょうか。

(明石部会長) それはありえます。声なき声をどう汲み取るかは課題です。しかし、このような公の調査では回収率が25%を下回ることが多い中で、40%を超えるというのは非常に高いのです。一つ疑問に思ったのは、未就学児も小学生も、子どもの年齢が上がるごとに回答率が低くなっていること。これは母親の関心度の表れでしょうか。

(橋本委員) 未就学児の場合は未就学期の保育・教育についての質問が大半なので、5歳児の保護者になると回答率が下がるのではないのでしょうか。

(事務局) 3歳以上の未就学児の保護者に対しては、小学校入学後に放課後をどこで過ごさせたいか質問しているのですが、質問票全体のページ数が多く、そういう質問があることに気が付かれなかった可能性があるかもしれません。

(明石部会長) 各委員の方で、クロス分析について要望があれば事務局までお願いします。個人的には、父親が回答しているのが12%というのが興味深いですね。回答者別のクロス分析はぜひお願いします。

(大野委員) 問8-1の「1日あたりの就労時間」で10時間以上という方がこんなに多いのかと驚きました。就労形態については調べていますか。また、親の就労状況と、問47の「未就学期に利用していた保育・教育事業」のクロスはできますか。それから、問51の「生活の満足度」ですが、これはどういう趣旨でこの質問を入れているのでしょうか。

(事務局) 就労形態については質問を設けていないのでわかりかねますが、問8、問9の就労状況と問47のクロスは可能です。満足度についての質問ですが、5年前に横浜市次世代育成支援行動計画を策定する際に実施したアンケートでも同じ質問をしているので、経年変化を見るという目的もあり設定しました。

(大野委員) 先ほど部会長の方から発言のあった、保育園の上に放課後の居場所を作るという話は実現可能なのですか。とてもいい話だと思いますが、将来的な見通しをお聞きしたい。

(事務局) 保育園や地域それぞれに異なる事情がありますので、一律に進められるものではありませんが、可能性がある場合には個別に検討していきたいと考えています。

(明石部会長) 横浜市は年収の高い世帯が多いですが、就労時間が長く、帰宅時間が遅いですね。夜10時以降に帰宅する父親が25%以上いますが、この時間だと子どもはもう寝ています。教育委員会としても、子どもの

早寝・早起き、朝食の問題に取り組む上で、このデータは参考になるのではないのでしょうか。

(梁田委員) 問11でいずれの放課後の事業も利用していないという回答者が一番多いですが、その理由として、子どもが行きたがらないというのが2番目に多いですね。子どもが行きたがらない理由として考えられるのが、授業が終わった後までも学校で過ごしたくないのかなと思います。これはある意味で健康的に育っているとも解釈できます。キッズの場合は狭い空間で大人数で過ごすことが多いので、スタッフも目が行き届かない場合はあると思います。子どものことを第一に考えるのであれば、場所の確保だけでなく、スタッフの体制ということもきちんと考えていかなければいけません。夏休み期間は一日中過ごす場所にもなるので、お弁当の管理や熱中症対策なども含めて、子どものためという視点で考えていかなければいけません。

(橋本委員) 留守家庭児童の預かりを目的とする事業と、子どもたちが自由に出入りして遊び、交流することを目的とする事業を整理して、預かりを必要とする子どもに対しては、きちんと対応できるよう体制を整えることが必要です。保護者にもその区別を認識してもらった上で利用してもらおう。例えば、預かりの事業は毎日開設して、他の子どもも自由に出入りして遊べる日を週に何回か設けるなど。そのように整理しないと、誰でも来られるので混雑してしまったり、本当に居場所が必要な子どもが来たくなくなってしまうりする。

(梁田委員) 預かりの事業だけでなく、放課後子ども教室の事業も子どもたちに様々な体験をさせるという意味で重要です。ですから、そういう体験や交流をする場を、預かりの場と切り離して考える必要があると思います。

(明石部会長) 今のご指摘は非常に重要な課題なので、キッズの1週間の日程をどうするか等、今後議論を深めたいと思います。その他、特にご意見なければ、本日の部会はこれで閉会といたします。

資料	資料1 横浜市子ども・子育て会議放課後部会 委員名簿 資料2 横浜市子ども・子育て会議 事務局名簿 資料3-1 横浜市子ども・子育て会議部会について 資料3-2 各部会における検討事項について (案) 資料4-1 基本指針の概要 (国作成資料) 資料4-2 子ども・子育て支援法に基づく基本指針 (案) (国作成資料) 資料5-1 「横浜市子ども・子育て支援事業計画 (仮称) 素案骨子作成に向けた検討資料 資料5-2 見込量・確保方策の記載が必要な地域子ども・子育て支援事業について 資料6-1 放課後部会の検討事項・スケジュールについて 資料6-2 事業概要 資料6-3 ニーズ調査の結果について
特記事項	各部会は10~1月に各3回程度開催予定です。次回の放課後部会は12月頃に開催予定です。 日時・場所は、今後調整させていただきます。 本日の議事録は、各委員に確認していただいた後、ホームページで公開する予定です。